



佐野市市民活動センター

心をつなぐ人をつなぐ

ココねっと 第68号

登録団体：118、登録個人：45（2023年8月現在）

天明鋳物体験&お茶会

日 時：令和5年8月5日（土）14:00～16:30

佐野市の伝統文化である天明鋳物が国の指定文化財となることを受け、その文化を市内の子どもたちへ周知し、愛着を持ってもらうことを目的とした、さのフォーラム主催の天明鋳物体験&お茶会が開催されました。

当日は、若林鋳造所の若林美延氏が、天明鋳物の歴史と魅力を鋳物造りの実演を交えて講話されました。その後、天明鋳物の茶釜で沸かしたお湯でお茶を点てるという、貴重な体験をして、子どもたちはとても満足そうでした。



市民活動センターココねっと 第1回利用者連絡会

日 時：令和5年8月20日（日）13:30～15:00

登録団体、個人の皆さんにお集まりいただいた第1回利用者連絡会は、顔の見える関係を作り、お互いを知る機会となるよう、それぞれの活動発表や意見交換を行いました。

19名の参加者から、団体の設立に至る思いや活動の現状についてお話があり、初めて知ることたくさんありました。質疑応答ではココねっととの協働の進め方や各団体への質問などが活発に交わされました。

今後も、利用者連絡会を通して皆様と顔の見える関係作りを進めるとともに、率直なご意見を伺う機会を設け、ココねっとの運営に活かしていきたいと思っております。



北中マイチャレンジ／松桜高インターンシップ



6月14日から16日に北中学校の職業体験「マイチャレンジ」が、7月11日から14日には、松桜高校のインターンシップが実施されました。それぞれの期間、生徒2名がここねっとで活動し、手話や点字、音訳サークルの活動を体験しました。

インターンシップでは、生徒たちがその様子を自分たちでまとめ SNS を使って発信した他、ここねっとの役割や協働の進め方について学びを深め、「協働シミュレーション」として市民活動を円滑に進めるためどんな人たちが繋がると良いのか、事業を進めるには何が必要かといったことについて考える時間も持ちました。

このような試みは、中学生や高校生といった若い世代に市民活動への理解を深めてもらうだけでなく、協働のパートナーになり得る高校生世代の育成にも繋がります。

今後も地域の学校と継続的に繋がりを持ち、共に市民活動を進めていく実践者を育てられるよう、働きかけていきます。

今まで出会ったことのない人に会い、考えたことがなかったことを考え、色々な学びを得られました。



障がいのある人も楽しく活動されていると知り、障がいがあることがマイナスだという固定観念が間違っていたと感じました。



みんなのしゃべり場～みんなで語る、みんなの居場所～



「みんなで語る、みんなの居場所」と題したみんなのしゃべり場では、市内各所で居場所づくりを始めた方々と、社会福祉協議会職員の方にお集まりいただきました。学童期から高齢者まで、様々な年代にとっての「居場所」の役割や必要性、運営していくうえでの課題などについてお話を伺いました。自ら感じる日々の課題に、できることはないかと模索し続ける皆さんの話はとても興味深く、2時間では足りないほどでした。

今後も様々な立場で活動する方々が対等な関係で情報や思いを持ち寄ることで、横の繋がりを構築するとともに、顔の見える関係作りができるよう、みんなのしゃべり場を継続していきます。



登録団体の活動紹介～vol.7～



佐野点訳サークルこぼと会



佐野点訳サークルこぼと会は、創立43年を迎える点訳ボランティアの団体です。視覚障がいの方が指で触って読む、点字書の作成や、各小中学校への点字体験授業の講師派遣、中途視覚障がい者への点字触読指導など、主にここねっとで活動しています。視覚障がい者のための情報提供や社会参加への取り組みなどの幅広い活動により、今年6月に栃木県の優良団体として表彰を受けました。これまでの実績が実を結び、地域社会で認められるようになったことは会員一同の喜びです。今後も点訳技術の更なる向上を図り、皆が自然にコミュニケーションをとれる社会を目指し活動していきます。

新規登録団体

佐野 StrongStart 研究会



設立は2017年6月。佐野市の援助のもと公私立の幼稚園、保育園、認定こども園、小規模保育園、学童保育関係者等が制度・施設の壁を越え「乳幼児の保育・教育実践の質向上」「子どもの Well-being（子ども自身が幸せを実感して育つ）」を目指し結成しました。

活動は①公開保育②子ども子育て市民フォーラム及び学習会の開催③子育て・保育・まちづくりに関わることならなんでもです。

このまちに生まれ育つ一人ひとりを大切にしていける保育・教育環境を多くの市民の皆さん方と繋がり協力して創っていきたいと思っています。



ここねっと活動紹介



7月のオープンデーは、介護予防スペシャリストの資格を持つ個人ボランティアの方を講師にお招きし、シニアのための健康講座を開催しました。「体だけではない心の健康も！」という明るいパワーが溢れ、終始笑いの絶えない2時間となりました。



市内の小中学生を対象に、ポスター作成講座を実施しました。佐野日本大学短期大学の田村田先生を講師に迎え、絵の構図や絵の具を塗る際のコツまで、丁寧にご指導いただきました。午前午後ともにキャンセル待ちとなり、28人の参加がありました。



ポスター講座に続いて実施した科学実験では、ボランティアで協力してくれた高校生も大活躍。目では追えない程の速さで飛ぶペットボトルロケットや大きな空気砲に、子どもたちからは大きな歓声が上がりました。「失敗しても考えてまたやってみる」それが科学の楽しさであることも教えてもらいました。



小学4年生以上を対象に実施した福祉ボランティア体験では、登録団体の佐野市音訳ボランティアやまびこの会と、佐野点訳サークルこぼと会の皆さんにご協力いただき、音訳と点字作成に挑戦しました。「初めてのことで緊張したけど楽しかった」という声が多く聞かれました。

助成金情報

● TOYO TIRE グループ環境保護基金

【令和5年9月29日】〈申請〆切〉

環境保護活動を行う非営利団体への助成

● 公園・夢プラン大賞【令和5年9月29日】

〈申請〆切〉

公園緑地等を舞台に、市民による自由な発想で実施されたイベントや活動、これからやってみたいアイデア・プランを募集し、審査・表彰

● 2023年度 社会福祉事業 NPO基盤強化資金助成【令和5年10月6日】

〈申請〆切〉

障がい児・者、高齢者などを対象として活動するNPOへの支援

● TOTO 水環境基金【令和5年10月13日】

〈申請〆切〉

水にかかわる環境活動に継続して取り組む団体への支援

ここねっと文庫紹介

「学校に居場所カフェをつくろう！」 生きづらさを抱える高校生への寄り添い型支援

明石書店 2019年

学校にカフェが増えれば、学校を居場所にできる子どもや大人が増えて、地域がもっと豊かに変わるのではないかと。

生徒の微弱なSOSをキャッチする寄り添い型の支援の日常から学校との連携・運営の仕方まで、カフェのはじめ方とその意義をやさしく解説する。

サロンに開設した「ここねっと文庫」に所蔵しています。

ご興味のある方はご一読ください！



佐野市市民活動センター ここねっと

〒327-0003

佐野市大橋町 3211-5

TEL/FAX 0283-20-5166

MAIL: sanosc@sctv.jp

HP: <https://kokonet-sano.jp>



取材等の様子はこちらから！

公式 X (旧 Twitter) ・ 公式 Facebook



開館時間

火～土 9:00～21:00

日・祝日 9:00～18:00

休館日 月曜 / 12月29日～1月3日

これからの予定

令和5年9月16日(土)

ここねっとオープンデー きり絵講座

令和5年10月8日(日)

パネル作成講座

令和5年10月22日(日)

佐野市ふくしフェスタ

令和5年11月9日(木)

篠笛愛好会発表会

令和5年11月26日(日)

ここねっとオープンデー

朗読サークル凜の会主催「朗読を楽しむ会」

令和5年12月16日(土)

NPO入門講座



編集後記



コロナにおける規制緩和がだんだんと浸透し、各地でいろんなイベントが通常通り行われるようになってきました。ここねっとでも歌・楽器のサークルや人数制限なしの会議や学習会も平常通り行っております。皆さんとのコミュニケーションをこれからも大切に、情報共有を図っていきたいと思います。